

なら華邨賞

第1回

華邨から時代をつなぐ、次代をになうあなたの書へ

奈良市名誉市民であり、「かな書」の第一人者として文化勲章を受章した杉岡華邨は、平安時代から脈々と受け継がれてきた日本独自の文化である「かな」が、現代の芸術として発展した時代を支え、自らの書美を追い求めた書家の一人として活躍しました。また、大阪教育大学をはじめとして数多くの後進の指導にあたり、書道界の次代を担う若手作家の育成にも尽力し、書道文化発展にその生涯を捧げました。

このたび、杉岡華邨の業績を顕彰し、墨や筆を伝統産業とする奈良から新たな書道文化を発信するとともに、新たな時代の日本の書道文化を担う若手作家の発掘と育成を目的として「なら華邨賞」を創設し公募展を開催することにいたしました。

本賞では、応募作品より最優秀作品「なら華邨賞」1点、準最優秀作品「寧楽賞」、「南都賞」各1点を含む上位入選作品約20点による展覧会を開催いたします。また、最優秀賞及び準最優秀賞を受賞した3人には、次年度に三人展を開催していただきます。

最優秀賞
なら華邨賞 1名

準最優秀賞
寧楽賞・南都賞各1名
ほか優秀賞約17名

応募締切
2025年 8月3日(日)

なら華邨賞受賞作品展
2025年11月1日(土)～2026年 1 月18日(日)
奈良市杉岡華邨書道美術館

（仮称）なら華邨賞三人展 —なら華邨賞上位入賞者3名による展覧会—

開催予定 2026年10月31日(土)～12月25日(金)

※開催期間等に変更となる場合があります

奈良市杉岡華邨書道美術館

審査員

鹿倉碩齋 （日展準会員・大東文化大学特任講師）
金子大蔵 （日展準会員・大東文化大学講師）
神崎充晴 （元センチュリーミュージアム館長）
慶徳紀子 （毎日書道会参事、かな書道作家協会会長）
島谷弘幸 （国立文化財機構理事長）
菅原教夫 （読売新聞東京本社編集員）
高木厚人 （日展会員・奈良市杉岡華邨書道美術館館長）

中村伸夫 （日展会員・筑波大学名誉教授）
西嶋慎一 （書道文化研究家）
西村大輔 （日展準会員・奈良教育大学准教授）
福光幽石 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）
松井玉箏 （毎日書道会理事、日本書道美術院常務理事）
吉川美恵子 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）

〔敬称略・五十音順〕

主 催 奈良市・一般財団法人奈良市総合財団(奈良市杉岡華邨書道美術館・ならまちセンター)

なら華邨賞

第1回

華邨から時代をつなぐ、次代をになうあなたの書へ

【最優秀賞】

表彰 なら華邨賞 1名
副賞
・なら華邨賞受賞作品展に陳列
・なら華邨賞受賞作品展図録30冊贈呈
・奈良市杉岡華邨書道美術館にて展覧会を開催（2026年度、準最優秀賞受賞者との三人展）
・展覧会(三人展)の準備金として50万円を贈呈
・展覧会(三人展)図録50冊進呈
・杉岡華邨書道美術館にてギャラリートークやワークショップ開催

【準最優秀賞】

表彰 寧楽賞・南都賞 各1名
副賞
・なら華邨賞作品展に陳列
・なら華邨賞作品展図録20冊贈呈
・奈良市杉岡華邨書道美術館にて展覧会を開催（2026年度、最優秀賞受賞者との三人展）
・展覧会(三人展)の準備金として25万円を贈呈
・展覧会(三人展)図録25冊進呈
・杉岡華邨書道美術館にてギャラリートークやワークショップ開催

【優秀賞】

表彰 優秀賞 17名程度
副賞
・なら華邨賞作品展に陳列
・なら華邨賞作品展図録10冊贈呈

◆応募資格

2026年4月1日現在40歳以下の方

◆募集規定

- ①募集作品 書作品(漢字・かな・調和体)
※応募はひとり1作品に限ります。
- ②作品サイズ(仕上がり寸法)
A.182cm×79cmまたは176cm×85cm B.121cm×121cm
C.106cm×136cm D.212cm×70cm

◆応募方法

応募作品(未表具状態)に必要な事項を記入した応募票(応募案内に添付の用紙、または杉岡華邨書道美術館ホームページよりダウンロードし印刷したもの。コピー可。)を添付し、杉岡華邨書道美術館へ応募期間内に提出してください。
なお、応募作品の返却を希望される場合は、レターバックまたはゆうパック等宅配便の着払い伝票に応募者の氏名、住所、電話番号を記入し応募作品に添えて提出してください。

◆募集期間

2025年7月1日～7月31日

応募・問い合わせ

〒630-8337 奈良市脇戸町3番地
奈良市杉岡華邨書道美術館「なら華邨賞」係

TEL 0742-24-4111 Email:shodou@m3.kcn.ne.jp
奈良市杉岡華邨書道美術館ホームページ
https://sugiohakason.com/

(担当:松村清孝)



◆審査方法

・1次審査 <8月中旬予定>
優秀作品40点程度を選抜
〈漢字作品20点程度、かな作品及び調和体作品計20点程度〉
【審査員】
福光幽石 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）
吉川美恵子 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）
西村大輔 （奈良教育大学准教授）
高木厚人 （日展会員・杉岡華邨書道美術館館長）

・2次審査 <8月下旬予定>

1次選抜作品の写真審査(審査員の投票)により部門ごとに順位をつける。その後、協議により全部門合計20点を選抜
※漢字及び漢字系調和体部門、かな及びかな系調和体部門それぞれに分かれて審査

【審査員】

〈漢字及び漢字系調和体部門〉
福光幽石 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）
中村伸夫 （日展会員・筑波大学名誉教授）
鹿倉碩齋 （日展準会員・大東文化大学特任講師）
金子大蔵 （日展準会員・大東文化大学講師）
西村大輔 （日展準会員・奈良教育大学准教授）
〈かな及びかな系調和体部門〉
神崎充晴 （元センチュリーミュージアム館長）
吉川美恵子 （日展会員・奈良教育大学名誉教授）
慶徳紀子 （毎日書道会参事、かな書道作家協会会長）
松井玉箏 （毎日書道会理事、日本書道美術院常務理事）
高木厚人 （日展会員・杉岡華邨書道美術館館長）

・3次(最終)審査 <9月中旬予定>

3次審査の各部門(漢字及び漢字系調和体部門、かな及びかな系調和体部門)上位3点を対象に審査し、第一席(なら華邨賞)、第二席(寧楽賞)、第三席(南都賞)を決定する。

【審査員】

島谷弘幸 （国立文化財機構理事長）
菅原教夫 （読売新聞東京本社編集員）
西嶋慎一 （書道文化研究家）
高木厚人 （日展会員・杉岡華邨書道美術館館長）

◆審査結果発表

審査結果は、受賞作品(なら華邨賞、寧楽賞・南都賞、優秀賞)については2025年10月上旬(予定)に杉岡華邨書道美術館ホームページにて発表し、本人へは書面にて通知します。
※個別の審査結果についてはお答えできません。

◆受賞作品について

- ①受賞作品の著作権はその作者に帰属します。
- ②本賞及び本賞受賞作品展、奈良市杉岡華邨書道美術館の広報宣伝、図録等作成、活動記録等に用いる写真等の撮影使用については、主催者が自由に無償で行えるものとします。
- ③受賞者には作品展図録を、なら華邨賞30冊、寧楽賞・南都賞各20冊、優秀賞各10冊贈呈します。
- ④著作権使用料(印税)はありません。
- ⑤受賞作品展の際の作品表具については主催者が負担します。
※受賞作品展終了後、裏打ち未表具の状態で返却します。

◆受賞作品展・表彰式

[授賞作品展]
なら華邨賞受賞作品展
期 間 2025年11月1日(土)～2026年1月18日(日)
会 場 杉岡華邨書道美術館(奈良市脇戸町3)

[表彰式]

日 時 11月30日(日)午後14時
会 場 ならまちセンター市民ホール(奈良市東寺林町38)